

大台警察署協議会議事録

令和7年度第1回大台警察署協議会	
日 時 場 所	令和7年6月18日（水）午後1時～午後3時45分 大台警察署1階 災害対策室
出 席 者	1 三重県公安委員会委員 志田幸雄委員長 2 警察署協議会委員 5名 小倉桂吾委員、楠川洋委員、久保香里委員、西村郁子委員、 野呂茂生委員 3 警察署 5名 署長、副署長、会計課長、生活安全刑事課長、 地域交通課長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 委嘱状交付 2 公安委員会委員長挨拶 3 警察署長挨拶 4 警察署幹部及び警察署協議会委員自己紹介 5 警察署協議会会長、副会長の選出 警察署協議会委員の互選により、会長に西村委員を選出した。会長が小倉委員を副会長に指名した。 6 管内治安概況等説明（警察署長） (1) 管内概要 (2) 犯罪情勢 (3) 交通事故発生状況、速度取締り指針 (4) 山岳遭難発生状況 7 協議内容 (1) 太陽光発電施設の銅線盗難について ＜委員＞ 大台警察署管内における令和6年度の刑法犯認知件数が、前年度から増えている理由が太陽光発電の銅線盗難の発生と のことであったが、太陽光発電施設の数が増えているという 三重県南部の実情以外に何か理由があるのか。	

【生活安全刑事課長】 太陽光発電施設の銅線盗難が増えたのは、施設数の増加や山間部の人目に付かない場所にも設置されていて犯行が容易という点がある。また、景気動向のほか、現在銅線等金属の価格が高騰しているため狙われている。このことがテレビ等でも報道されており、模倣犯等も発生している。

＜委員＞ 事業者は、金属盗への対策は取っているのか。

【生活安全刑事課長】 フェンス等で囲み、警報装置や防犯カメラを設置している施設もある。警報装置によっては警察にも通報されるため、その都度対応しており、現行犯として犯人を逮捕した事例もある。

(2) 特殊詐欺について

＜委員＞ 大台署管内の特殊詐欺の発生状況は、同じような規模の警察署と比べてどうなのか、自分としては少なく感じている。

警察署をはじめ、具体的な施策が功を奏しているのではないかなと思うがどうか。

【署長】 当署の特殊詐欺の発生は少ない。予兆電話に対する役場の防災無線を使用した注意喚起放送等のほか、地域住民の心掛けによるところが大きいと考えられる。

(3) 山岳警備隊活動説明（地域交通課長）

(4) 協議テーマ「特殊詐欺被害防止活動」について

【生活安全刑事課長】 特殊詐欺の危険性については、様々な広報・啓発活動を通じ周知されていると思うが、いまだに「自分は騙されない」と思っている人がいる。そういった人が、犯人からの電話等に騙され被害に遭うという傾向がある。実際、コンビニで店員に再三「詐欺ですよ」と注意されているにもかかわらず「俺は騙されてない」と忠告を聞かずに被害に遭うという事例がある。特殊詐欺の被害に遭わないためには、その手口を知ることが大切であり、当署では最新の手口や対策についての広報に加えて、被害を防止するための具体的な行動や習慣付けを促す広報・啓発活動を行っている。具体的には「商業施設やイベント開催時におけるボランティアの方々とのチラシ配付」、「行政チャンネルを活用した特殊詐欺に関する広報・啓発」、「老人会や社会福祉協議会における防犯講話」、「劇団員等による寸劇」、「自動通話録音警告器の貸し

出し」、「国際電話の不取扱いの受付」、「警察官による巡回訪問時の防犯指導」等を実施している。なお、特殊詐欺の予兆電話があった場合は、大台町、大紀町と情報共有を行い、町内放送により注意喚起を行っている。

＜委員＞ コンビニで電子マネーを買って被害に遭う事案が一番多いと思うので、コンビニの店員に対する啓発、未然防止の依頼を行ってはどうか。また、特殊詐欺を防止するための電話機の補助等に関して、警察から自治体に働き掛けてはどうか。

＜会長＞ 大台町の広報に、迷惑電話防止対策機能が入った電話機の購入に対する補助金支出の記事が出ていたので、高齢の方が新たに電話機を購入する場合は、それらを活用するのも良いのではと思う。

【署長】 コンビニでの水際対策については、呼び掛けを強めていく必要があると考えている。また、電話機の補助金等については、役場に対する予算化の要望を行っていく。

＜委員＞ 警察署や裁判所から、電話で「逮捕状出てますよ」などと連絡することがあるのか。

【生活安全刑事課長】 ない。

＜委員＞ 犯人は、このようなことを信じてしまう心理を利用しており、実際、被害に遭った人の多くが、詐欺の手口を知っていたそうである。

SNSを利用した詐欺が多いため、SNS上で詐欺防止の広報が流れるような仕組みも必要ではないか。

【署長】 今後もしっかり広報・啓発活動を継続していく。SNSを利用した広報・啓発についても、今後力を入れていく。

8 公安委員会委員長講評

9 警察署長謝辞

10 視察

大台町滝谷地内において、山岳警備隊員による山岳救助訓練の状況を視察した。

備 考	報道機関 2 社 2 名
-----	--------------